

イネカメムシ急拡大

注意報2倍 発生5都県増

そうだね。
令和7年5月8日の
日本農業新聞によると
今年も多いことが
予測されるね!



JA北九営農部

また今年も
イネカメムシ
多いのかな?



1. イネカメムシ (体長12~13mm) の被害と発生生態

- 水稻の出穂前後に水田へ飛来し、産卵・増殖する。その後、遅れて出穂する水稻ほ場へ移動する。
- 稲の基部のみを加害する。他のカメムシより加害時期が早く、出穂期に加害されると不稔になる。また、穂揃い期以降に加害されると斑点米が生じる。
- 日中は水稻の株元に隠れており、夜間に穂にあがって加害するが、発生が多い場合は、日中でも穂にあがって加害する。

不稔の例



不稔のため、穂が垂れていない

斑点米の例



稲の基部を加害

イネカメムシ



幼虫



成虫

JA北九ではそういった病害虫発生情報や防除情報などの営農情報をJATAC通信(LINE)を通じて、タイムリーに発信しているんだよ!

下記QRコードからLINE登録できるのでは是非この機会に登録してね!

また日本農業新聞では営農情報だけでなく全国の食と農業に関する情報を得ることができるよ!



日本農業新聞



TAC通信LINE公式アカウント

- イネカメムシ防除のポイントは3つ!
- ① 情報のチェック
都道府県の病害虫防除所などが発表する発生予察情報など情報をこまめに確認し地域の発生状況を把握すること
 - ② ほ場内への初期侵入を把握
イネカメムシは他の斑点カメムシ類と異なり稲への嗜好性が高いため、畦畔や水田の周辺のイネ科雑草で確認されることは少ないので、ほ場内を見回ること
 - ③ 防除の実施
①②をもとに計画的な防除を実施すること

